

阪神・淡路大震災から24年

阪神・淡路大震災から24年が経過しました。

早朝の大都市を襲った直下型地震により、死者・行方不明者は6,437人、負傷者は4万人を超える大災害となりました。

地震保険では783億円の保険金をお支払いしましたが、当時の地震保険の普及状況は、世帯加入率が地震保険制度創設以来の最低水準である全国平均7.0%となっており、さらに兵庫県の世帯加入率は全国平均を大きく下回る2.9%でした。

1. 阪神・淡路大震災の概要

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、神戸市や淡路島の一部地域では震度7に相当する揺れとなりました。

気象庁はこの地震を「平成7年（1995年）兵庫県南部地震」と命名し、政府はこの災害を「阪神・淡路大震災」とすることを閣議了解しました。



[神戸市長田区 火災現場]



[神戸市東灘区 阪神高速倒壊現場]

(写真提供：神戸市)

2. 阪神・淡路大震災での地震保険再保険金支払い状況

2018年3月末現在

地震名	地震発生日	地震規模	再保険金	
			証券件数	支払再保険金
平成7年（1995年）兵庫県南部地震	1995年1月17日	M7.3	65,427件	783億円

・支払再保険金783億円のうち、政府は61億円、当社を含む民間損害保険会社は721億円を負担しました。

私たちは過去の地震災害を振り返り、その教訓を踏まえ、地震・噴火・津波の備えとしての地震保険の重要性をお伝えしてまいります。

以上